

J L T F 大分県支部主催大会に向けた感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは、スポーツ庁、日本スポーツ協会、日本テニス協会、日本テニス事業協会がこれまで発表したガイドライン等の情報に沿って、J L T F 大分県支部が主催する大会における感染拡大予防のための留意点をまとめたものです。大会に参加される選手だけでなく、会場に来場される応援者、観客の皆さんにおかれましては、大変ご不便をおかけしますが、全ての皆さんの安全安心を守るという趣旨をご理解の上、大会にご参加いただきますようお願いいたします。

参加選手・来場の応援者の方へのお願い

- (1) 大会前7日間において以下の条件に該当する方は、会場への来場はできません。
 - ・平熱を超える発熱（大会当日は必ず検温してください）
 - ・せき、のどの痛み、鼻汁、下痢などの症状が1つでもある場合
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触があった
 - ・その他、新型コロナウイルス感染が疑われる状況にある

※コロナ感染者の濃厚接触者とは「保健所より濃厚接触者と認定された者」や「感染者との関係でPCR検査が必要と判断された者」を指す。

※陽性となった者で隔離期間終了後、その隔離期間前後に同居者などが陽性となった場合は、保健所の許可（学校への出席、職場復帰など社会参加）があれば、来場可能とする。
- (2) 来場者はマスクを持参し、試合を行っている選手以外は必ず着用すること。
マスクの着用がない方は入場をお断りする場合がありますのでご注意ください。
（熱中症の恐れがあるため、プレー中のマスクの着用は不要です）
- (3) 定期的に（特に試合の前後）手洗い、消毒等をするように心がけ、用具、用品（ラケット、タオル、ウェアなど）の共用は避けること。
- (4) 当日の混雑を避けるために、選手以外の応援者に関しては極力最小限の人数での来場をお願いします。また、参加選手、応援をされる方は、接触を避けて一定の間隔（2mが目安）をとっての応援を心がけ、バッグや手荷物等の保管場所の間隔も空けるようにお願いします。
- (5) 会場内での大きな声での会話、応援等はしないこと（応援は拍手のみとする）
- (6) 飲食については最小限のものとし、周囲の人と距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。
- (7) 会場内で購入したドリンク類、他から持ち込んだ飲食物などのごみ類（使用済みマスク等）は必ず全て自分で持ち帰ること。
- (8) 試合終了後、目的の試合が終わった後は速やかにご帰宅下さい。

試合当日～試合の手順等

- (1) 会場に到着したら、密を避けながらエントリー用紙（当日の申告用紙を兼ねる）に必要事項を記入の上、受付に提出する。
○参加者以外の応援は極力ご遠慮下さい。
やむを得ず、来場する場合は必ず本部に届け出て下さい。（検温・記入）
- (2) 本部のオーダーオブプレーボードで、自分の試合コート、進行状況を確認する。
- (3) 試合待機中にはお互いの距離を十分にとり、多くの人が集まらないようにして待機する。なお、エントリーNo.の若い方はボールを受け取っておく。
- (4) 前の試合が終了したら、選手が完全にコートから退場した後に入場する。
（試合が終了した選手は、速やかにコートから退出すること）
- (5) 試合開始前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はネットから1 m以上離れて行う。
（試合後の握手はせずに挨拶のみとする）
- (6) ゲーム中、ポイントゲッターの際などに大声を発することはしない。また、ダブルスでは、インプレー中以外はペアとの距離を保ち、至近距離の会話、ハイタッチ、握手は避けること。
- (7) エンドチェンジの際は選手がそれぞれ距離をもって移動し、スコアボードについては自分のスコアのみ変える。
- (8) 勝者がボールを返却し、結果の報告をする（前に別の報告者がいた場合の順番待ちはソーシャルディスタンスを保つこと）
- (9) 試合終了後は除菌シートでスコアボード、ベンチを拭き、必ず手洗いをする。
- (10) 感染予防対策を優先するため、表彰式については省略した形で行います。

その他

大会終了後、万が一5日間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告して下さい。また、県、医療関係等へ個人情報提供する場合があることをご了承下さい。